

県の少人数数学級縮小凍結を

ゆきとどいた教育すめる会が署名提出

県教育委員会は14日、2021年度から予定していた公立小中学校の少人数数学級編制の縮小について小学3～6年の1学級当たりの人数を、現行の35人のまま維持する方針を示しました。国は昨年12月、新型コロナウイルス感染症防止のため、上限人数を順次引き下げ、25年度には小学校全学年で35人学級にする方針を決定。県は38人学級にしても、再び35人に戻る学年があり

一貫性を欠くとして現行のままとしました。ゆきとどいた教育すめる会(小松雪乃代表)は13日、小中学校の少人数数学級を縮小するという県の方針に対し、少なくとも来年度は凍結するよう求める署名2394筆を、丸山達也知事と新田英夫教育長宛てに提出。猪俣邦頭事務局長は「教育現場からはコロナ対策や密を避けられないことへの不安の声が数多く上がっている」

地域の話 アコム

核禁止条約意見書 松江 党市議団が提案

共産党市議団は12月議会で「核兵器禁止条約の署名批准を求める意見書(案)」を提案し、12月22日、田中はじめ市議が意見書案の提案理由説明を行いました。

田中市議は「人類史上初めて核兵器の全面禁止を明文化した条約の批准国が50か国に達し、ついに核兵器は違法化される。被爆者の方々の『この思いを他の誰にもさせてはならない』との強い思いが国際社会を動かし、条約発効につながった」とし、本意見

大田 少人数数学級縮小凍結を 亀谷議員が討論

12月議会初日、国への「少人数数学級制度の拡充を求める意見書」と、県への「現行少人数数学級制度縮小計画の凍結を求める意見書」の提出を

全国的な流れと逆行するこの計画は凍結してほしい」と凍結を求める要望を続けていきました。

中央委員 「あなたと一緒に考えたい 私たちのくらしとこの国の未来」

日本共産党は「あなたと一緒に考えたい 私たちのくらしとこの国の未来」パンフレットを発表しました。パンフ(写真)の内容は、日本共産党中央委員会のホームページからご覧いただけます。



日本共産党中央委員会ホームページ <http://www.jcp.or.jp/>

求めた2件の陳情について、亀谷議員が採択を求めて討論に立ちました。亀谷議員は「文科大臣も少人数数学級について前向きな発言をしており、この動きをさらに強めるべきだ。教室を今よりも密にする少人数数学級制度の見直しは、少なくともコロナ危機が収束するまで実施しないでほしい」というのが、子どもや学校関係者の願いだ」と述べました。いずれも賛成少数で不採択となりました。「大田民報」より

江津 第8期介護保険料引き下げ見通し

浜田市と江津市の介護保険事業を運営する浜田地区広域行政組合では、第8期となる介護保険事業計画の策定を進めてい

ただ、この金額は12月時点での試算であり、国が今後提示する介護報酬の改定などにより変動する可能性があります。広域組合では、計画案への意見公募(パブリックコメント)を実施しています。「こうつ民報」より

新春対談



広島県原水協の核兵器禁止条約批准50カ国到達の記念集会(2019年10月)

大平 昨年その「木の葉」の編集委員会が女性文化賞を受賞したんですよね。
米山 そう！被爆75年、核兵器禁止条約の発効が決まった年の受賞は意義深いです。草の根の地道な活動に光をあてていただき、大きな励みになりました。
大平 私も2017年の予算委員会で「木の葉のように焼かれて」の第1集を議場で掲げて中身を読み上げながら、当時の岸田文雄外務大臣に「核兵器禁止条約を採択する国連会議に参加せよ」と求めました。
米山 広島出身の議員ならではの、気迫に満ちた質問でした。
大平 3年前の国連会議に現職国会議員として参加して、核兵器禁止条約が採択された歴史的な瞬間に立ち会うことが出来ました。会場で被爆者代表としてスピーチしたサーロー節子さんに「日本の国会から来ました。頑張ります」と決意を述べると、サーローさんは私の手を握って「日本政府に私たちは裏切られ見捨てられた。あなたたちが政府を変えてください」と話されました。被爆者のこうした願いにしっかりと応える年にしなければなりません。
米山 条約をつくる交渉会議が始まって採択されるまでがあつという間でしたね。オーストリア、アイルランドなど大国ではない国々が大きな役割を果たし、市民社会の署名が後押ししました。何よりも「ヒバクシャ」が果た

いのちと暮らしを守り、平和とジェンダー平等をめざす政権を②

米山淳子 大平喜信

米山淳子(よねやま・あつこ)さん 1959年東広島市生まれ。日本女子大学(社会福祉学科)。女子学生の就職難など学生運動をへて1986年新日本婦人の会中央本部へ。新婦人しんぶん編集部、『新婦人情報』編集長、運動・しんぶん委員会責任者。原水爆禁止日本協議会代表理事、日本婦人団体連合会副会長。

した役割は大切です。国連と各国政府、市民社会の運動が一緒に作り上げてきた画期的な取り組みでした。
大平 条約は1月22日に発効され、1年以内に締約国会議が開かれます。8月には延期されていたNPT再検討会議も行われる予定です。核兵器をめぐる国際情勢は、ますます激動の一年になりますから、私たちの運動もさらに強めていかなければなりません。何よりも、批准する政府に政権交代することが大切ですね。
米山 本来なら真つ先に参加すべきです。私たちが日本政府に批准を迫る署名運動に力を入れていきます。

トリック広島司教区の白浜満司教と懇談し、その様子をFacebookに書いたら、それを見た中学時代のクラスメイトが「実は私もカトリック信者。嬉しかった。がんばって」と久しぶりにメールをくれました。新署名もどんどん広げてさらに菅政権に迫っていきたいですね。(続く)



世界平和記念聖堂の前で(2019年12月)